

LINE × HubSpot連携

株式会社100

100

LINE公式アカウントの特徴



LINE更新アカウントは、無料で開設することができ、初期費用0円から利用することが可能です。メッセージの配信やショップカードやクーポンの発行、ユーザーとのチャットなど便利な機能が充実しております。

01

メッセージの配信

友だち追加したユーザーに簡単にメッセージを送ることができます。

02

チャット（コミュニケーション）

ユーザーからの問い合わせに対して、LINEのトークと同じように直接コミュニケーションができます。

03

ショップカード・クーポン

LINE上でポイントカードの発行管理や、店舗で利用できるクーポンを作成し配信することができます。

04

オーディエンス配信

LINEが独自で持っている「オーディエンス」機能を利用することで、ターゲティングしたメッセージ配信が可能

※契約の料金プランにより、機能の制限などがございます。

LINE×HubSpotを連携

LINEとHubSpotを連携する場合、「Webhook」を使った連携や、APIを活用した連携などいくつかの連携方法がありますが、100では「LITTLE HELP CONNECT」を活用したLINE連携をご提案しております。

※「LITTLE HELP CONNECT」は、HubSpot認定アプリパートナーであるリトルヘルプ・エージェンシー合同会社の提供ツールです。





LITTLE HELP CONNECT の8つの特長

01

HubSpotでLINE友だちの顧客管理

友だち追加されたコンタクト情報はそのままHubSpotに格納され、登録後に簡単なアンケートを実施してクッキーの紐づけも可能です。



02

LINEチャットボットの構築

ドラッグ＆ドロップの直感的な操作で、簡単にチャットボットの設定ができ、質問の分岐により情報の出し分けも可能です。



03

LINEメッセージの自動配信

HubSpotのワークフローを活用してLINEのメッセージを自動配信できます。コンタクトの動きを考慮したシナリオ設計が実装可能です。



04

LINEメッセージのセグメント配信

HubSpot側で情報収集したデータをベースに、メッセージ配信をする。スケジュール配信や繰り返し配信や、開封率、クリック率などもトラッキング可能です。

新製品のお知らせです！
<https://www.100inc.co.jp/>

05

LINE 1:1チャット

HubSpotまたはLittle Helpの受信トレイから1:1のチャットが可能です。やり取りはコンタクトのタイムラインに記録されるため、コミュニケーションの一元管理ができます。

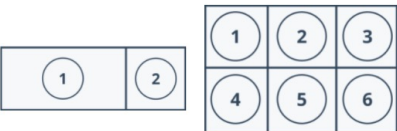
新製品のお知らせです！
<https://www.100inc.co.jp/>

費用について教えてください

06

リッチメニューのパーソナライズ

LINE公式アカウントのリッチメニューを友だちの属性に合わせてパーソナライズできる「スマートリッチメニュー」を搭載しています。



07

カスタムQRコードを活用した流入元の把握

独自のアクションや施策を実行するために、媒体別に異なるカスタムのQRコードとURLを発行することが可能です。



08

データベースの活用で動的にコンテンツを表示

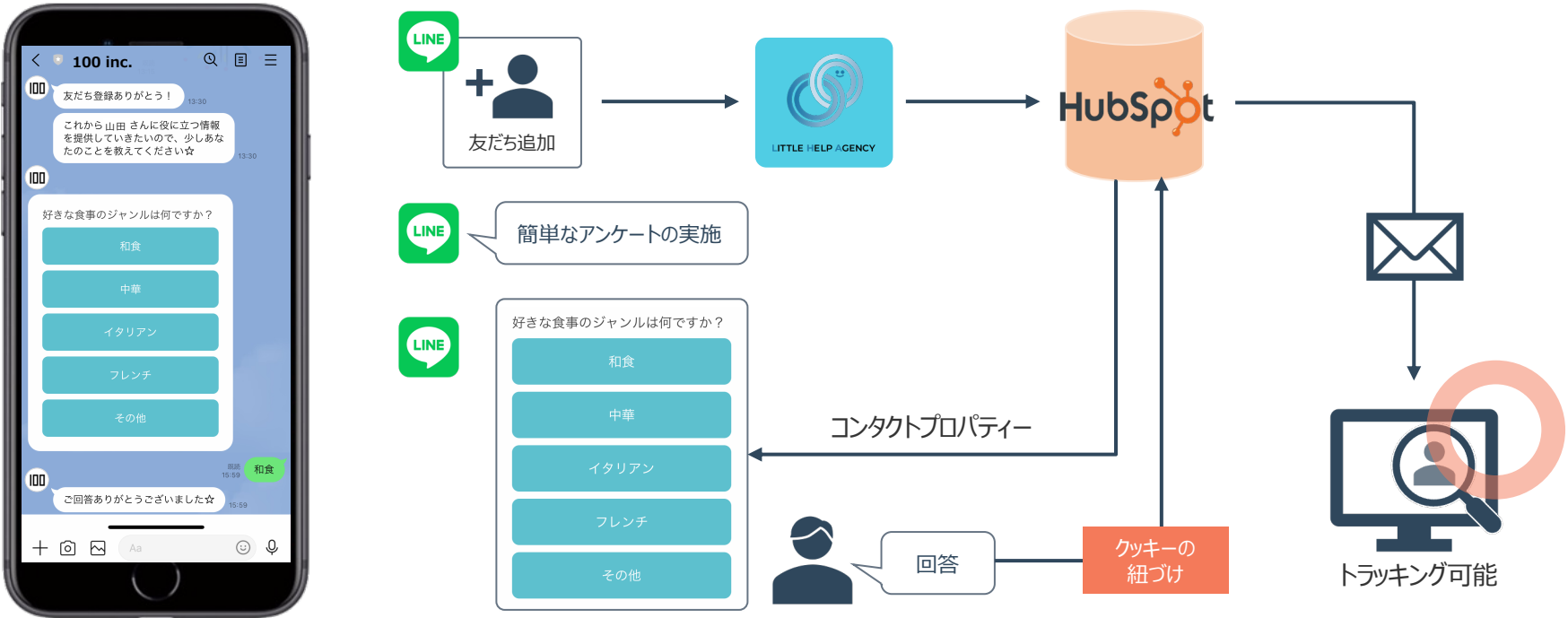
オリジナルデータベースをもとに、検索された情報を動的的にコンテンツを表示することが可能です。

カフェ「100」は、2FのA-3です
[フロアマップを表示する](#)

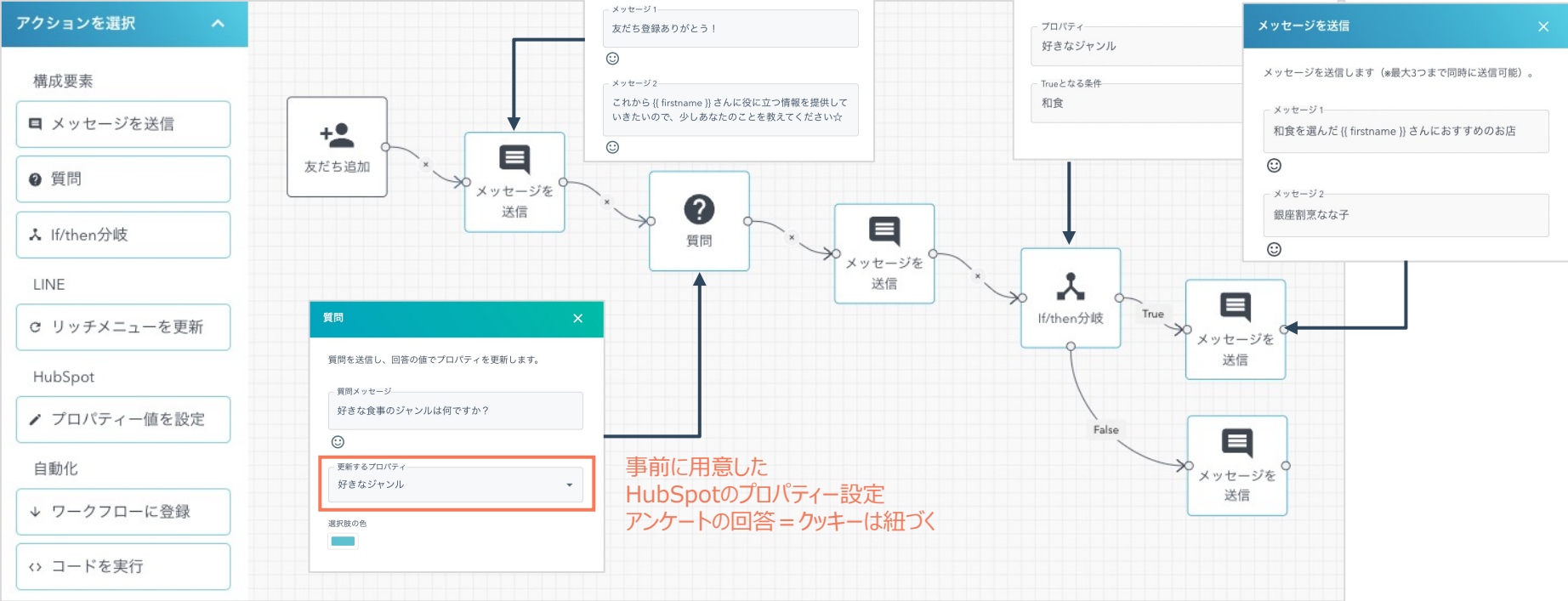


02 : LINEチャットボットの構築の活用イメージ

友だち追加時に簡単なアンケートを実施して、プロパティと連携するとクッキーの紐づけがされ、質問の回答により情報の出しわけが可能です。



LITTLE HELP CONNECT 画面イメージ





06：リッチメニューのパーソナライズの活用イメージ

リッチメニューを対象者の条件（HubSpotのリスト）に合わせて表示が可能です。また、合致するリッチメニューが複数ある場合は、事前に設定した優先順位に合わせて表示されます。



サンプル： BtoC 大型ショッピングモールの活用



40代～50代・男性
会社員



お店からのお知らせはこちら

優先度3



30代～40代・女性
主婦



お店からのお知らせはこちら

優先度2



10代～20代
または、情報なし



お店からのお知らせはこちら

優先度1



07 : カスタムQRコードを活用した流入元の把握の活用イメージ

媒体別に「友だち登録」のQRコードを発行することで、どの媒体が「友だち登録」において効果があったか計測が可能です。



08 : データベースの活用で動的にコンテンツを表示する活用イメージ

LITTLE HELP CONNECT内に事前に設けたオリジナルデータベースをもとに、検索された情報を動的にコンテンツを表示することが可能です。



株式会社100について

HubSpot活用を支えてきた、私たちの取り組みと実績

『HubSpot 大百科』改訂版を出版



HubSpot導入・活用の知識を凝縮した実践ガイド

2024年8月に販売された『HubSpot 大百科 改訂版』は、全512ページの圧巻のボリュームで、マーケティング、営業、カスタマーサービスなど各業務でのHubSpot活用ノウハウを実務視点で解説しています。

<https://100.inc/book>

パートナーランク・受賞

- Best Sourcing Partner in Japan 受賞（2024年）
- アジア初のEliteパートナー認定（2023年）
- HubSpot Best Partner in Japan 3年連続受賞（～2023年）
- HubSpot Rookie of the Year 日本初受賞（2021年）

パートナー選出・参画

- HubSpot Partner Advisory Council：Upmarketに選出（2025年）
- HubSpot Partner Advisory Council選出（2022年～2023年）

認定・資格

- 日本初のHubSpot認定トレーナー 2名認定（田村・若本）（2024年）
- 日本初のHubSpot Onboarding Accreditation取得（2023年）

コミュニティ

- Japan HubSpot User Group 初代リーダーに選出（2021年）
- Exceptional Virtual HUG Event受賞（2023年）



HubSpotを軸に、 “今”と向き合う現場視点の定期コラム

週間メルマガ『HUBSHOT』始めました。



HUBSHOT

QUICK INSIGHTS & TRENDS

▼今週のHubSpotまわり /
“使えるデータ”を集める：HubSpotフォーム設計入門

HubSpotを使ったウェブサイト運用において、「フォーム設計」は非常に重要なファーストステップです。資料請求やお問い合わせなど、すべての起点となるフォーム。今回は、入力されやすく、かつ活用可能な“使えるデータ”を集めるための設計のポイントと、HubSpotが提供する入力補助機能をご紹介します。

◆フォーム上での丁寧なおもてなしでデータ入力を実現に
フォーム設計で重要なのは、「集めたい情報を、相手に入力しやすい形で設計すること」です。このバランスが崩れると、集約が増え、活用できないデータばかりが蓄積されます。どのように入力してほしいのかをフォームで示していくことが重要で、HubSpotではラベルやプレースホルダー（仮挿入）テキストが活用します。補助テキストを活用することで、「どのように書けばいいのかわからない」というユーザーの不安を減らしながら、正確な情報を集めやすくなります。

フォーム入力後、資料をダウンロードできます。

姓 ラベル 名

例) 山田 例) 太郎

プレースホルダー（仮挿入）テキスト

Eメール

企業メールをご入力ください。(GmailやYahoo等のフリーメールではご登録できません)

例) yamada@100inc.jp ヘルプテキスト

会社名

例) 株式会社100

コラム：AIと、仕事の途中で

株式会社100 代表取締役
田村 慶

今回は、私たちのビジネスに大きな影響を与えつつある「AI検索」について、最新の動向をお伝えしたいと思います。

◆もはや「ググる」だけではない時代へ
先日、ある経営者の方とお話して「最近、新しいツールを探すときは、まずChatGPTに聞いています」とおっしゃったのです。

実は、これは特別な話ではありません。2024年のデータによると、製品やサービスの推奨を求める際にAIツールを使う人は58%に達しています。前年比で25%でしたから、たった1年で倍以上に増えたことになります。

特に若い世代では、Z世代の約40%がGoogleよりもTikTokやInstagramで検索することを知っているという調査結果も出ています。「検索＝Google」という時代は、確実に終わりを迎えているのです。

◆AI検索がもたらす驚きの事実
ここで、皆さんに知っていただきたい重要な事実があります。
AI検索経由で訪れるお客様は、従来のGoogle検索で来るお客様と比べて4.4倍も価値が高いというデータが出ています。つまり、購買意欲が高く、コンバージョンしやすいということです。

ある小売業の事例では、2024年のホリデーシーズン中にAI検索からの流入が1,300%も急増しました。ChatGPTからのトラフィックでは、なんと約30%という驚異的なコンバージョン率を記録したケースもあります。



『100 メルマガ』で検索 🔍

SUBSCRIBE

<https://www.100inc.co.jp/email-subscription>

成果を出すCRMを支える、100の戦略的サービス



HubSpot 導入・再設計

単なる設定代行ではなく、
成果に直結する使い方まで支援

HubSpot導入支援（Marketing・Sales・Service Hub） / CRM・MA移行 / オンボーディング / CRM設計・再構築 / トレーニング



AI活用と業務自動化

日々の業務に自然に溶け込む、
AI・自動化の活用支援

生成AIを活用した業務自動化構築 / Operations Hub活用 / 生成AI連携 / 通知・分類の自動化 / Slack連携 / ワークフロー設定



顧客データ統合管理

顧客データの精度を高め、
成果を支える基盤を整備

データクレンジング・名寄せ・一元化 / 企業データベース連携 / DWH連携 / BIレポート構築 / 各種SaaS・ERPとのAPI接続



Webサイト・コンテンツ作成

WebはCRMの frontline。接点づくり
から成果獲得までを一気通貫で

Content Hub構築支援 / オウンドメディア・LP制作・SEO・EFO / BtoBサイトテンプレート / 会員サイト / 多言語サイト / 各種コンテンツ作成



RevOps 戦略策定

顧客接点全体の最適化を目指す、
全社レベルの業務設計・DX支援

RevOps戦略策定 / 業務フロー設計（マーケティング・営業・カスタマーサービス） / 業務可視化・プロセス改善 / トレーニング・CRM定着支援



ABM戦略設計

ターゲット企業に向けた戦略的
アプローチと施策運用支援

ABM戦略設計 / ターゲティング企業の管理と最適化（データ整備含む） / アカунツ単位のコツテンツ施策・分析 / KPI設定

会社名	株式会社100（ハンドレッド）	URL	https://www.100inc.co.jp
設立年度	2018年	資本金	1億円
代表者	代表取締役 田村 慶	従業員数	30名（業務委託含）
所在地	〒155-0032 東京都世田谷区代沢5丁目31番8号 No.R下北沢 3F	関連会社	株式会社WACUL（持分法適用会社）
事業内容	HubSpot導入支援／HubSpotを活用したDX推進支援 RevOps体制構築支援／Webサイト構築／AI活用支援 HubSpotの運用代行・HubSpotの利用方法の教育	資本提携会社	株式会社Relic 株式会社Scalehack
認証	情報セキュリティマネジメント： ISO/IEC27001:2022, JIS Q27001:2023 認証範囲：業務コンサルティング、システム導入支援	品質マネジメント： ISO/9001:2015 認証範囲：CRMツールの設計及び開発・運用保守	   